

令和8年度 早稲田学区社会福祉協議会 事業計画書

1 今年度の目標

今年度は、早稲田学区社協が設立・誕生して満27年目を迎えるとともに、令和4年3月に広島市の新たな組織「広島型地域運営組織“ひろしま LMO”」として広島市より認定されて4年目となることを踏まえ、今年度の事業計画は①早稲田社協（LMO）の「わせだのまちづくり5次プラン」の作成を皮切りに、②“ひろしま LMO”としての事業運営の確立、③地域課題を解決するための5事業を中心に、「わせだのまちづくり」5次プランプラスを基に、早稲田学区のコミュニティの活性化と、早稲田に暮らす人々の安心・安全と地域福祉の更なる向上を目標に以下のとおり計画した。

2-（1） ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	早稲田学区盆おどりフェスタ	(5)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 6 月 13 日 ～ 令和 8 年 9 月 30 日	
(2) 実施場所	早稲田中学校グラウンド	
(3) 参加者数	1, 0 0 0 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 早稲田学区社会福祉協議会	
4 取組内容	早稲田学区の「ひろしま LMO」に集う全ての連携団体により『盆おどりフェスタ』を運営する。 ➤ 大会の運営と太鼓の破損修理、その他老朽化した設営資器材の修理・買替 ➤ イベントの骨子 ・ LMO 傘下の各種団体の有志による売店の出店・イベントの開催 ・ 盆太鼓の演奏、やぐら舞台でのおどり披露、物故者の供養 ➤ 実行委員会（2回）、反省会および地域住民各戸への実施報告書配布	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 今年度で42回となる「盆おどり」は、地域コミュニティの活性化に大きく貢献しており、今や「ひろしま LMO」の中核事業として定着しつつある。今年度は名称を「早稲田学区盆おどりフェスタ」に改め、地域団体や住民同士の交流の場を提供し、地域のつながりを深めるとともに地域コミュニティの「基盤を確立」と「持続的な発展」を目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ① 老朽化（破損）した備品等を整備することで継続的な開催が可能となる。 ② 地域コミュニティの活性化や、ネットワーク（繋がり）が強化し、地域課題への対応が円滑に実施できることが見込まれる。 ③ 大会の計画・運営には、多くのボランティアの募集（協力）が必要となり、社協をはじめ各種団体の新たな担い手の発掘が期待される。	

1 事業名	わせだ LM0 スポーツ大会	(5)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 8 月 1 日 ~ 令和 8 年 10 月 31 日	
(2) 実施場所	早稲田中学校グラウンド	
(3) 参加者数	100 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 早稲田学区社会福祉協議会	
4 取組内容	早稲田学区の「ひろしま LM0」に集う全ての連携団体により『わせだ LM0 スポーツ大会』を運営する。 ➤ 大会の企画 ・運営と必要な資器材の購入 ➤ 大会の骨子 ・LM0 傘下団体の有志による売店の出店 ・モルックなど数種類の競技によるスポーツ大会の実施 ➤ 実行委員会(2回)の開催と反省会の実施	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) これまで社会福祉協議会の事業として、隔年(2年毎)で、春に開催していた「町民大運動会」を、開催時期・開催場所・種目等の見直しを行い、老若男女が参加しやすい「わせだ LM0 スポーツ大会」としてリニューアル開催し、「盆おどりフェスタ」同様に、地域団体や住民同士の交流の場を提供することで、地域のつながりを深め、地域コミュニティの活性化を図る。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ① スポーツ大会に必要な資器材を整備することで継続的な開催が可能となる。 ② 地域コミュニティの活性化や、ネットワーク(繋がり)が強化し、地域課題への対応が円滑に実施できることが見込まれる。 ③ 大会の計画・運営には、多くのボランティアの募集(協力)が必要となり、社協をはじめ各種団体の新たな担い手の発掘が期待される。	

1 事業名	スタジアムツアー	(5)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 10 月 1 日 ~ 令和 8 年 12 月 25 日	
(2) 実施場所	エディオンピースウイング	
(3) 参加者数	40 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 早稲田学区社会福祉協議会	
4 取組内容	地域住民が交流できる機会を設け、つながりを深めることで、継続的な地域活性化の土台（関係づくり・地域行事への参加のきっかけ）をつくることを目的に、「エディオンピースウイング広島」のスタジアムツアーを実施する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民が交流できる機会を設け、つながりを深めることで、継続的な地域活性化の土台（関係づくり・地域行事への参加のきっかけ）をつくることを目的に開催し、地域のつながりを深めることにより、地域コミュニティの活性化を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域コミュニティの活性化や、ネットワーク（繋がり）が強化し、地域課題への対応が円滑に実施できることが見込まれるとともに新たな担い手の発掘が期待される。	

1 事業名	早稲田団地展望案内板整備事業	(5)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(5) 実施期間	令和 8 年 7 月 1 日 ~ 令和 8 年 12 月 25 日	
(6) 実施場所（整備場所）	牛田早稲田第六公園	
(7) 参加者数	_____ 人（見込み） 早稲田学区や市内展望者への対応	
(8) 主催団体	団体名 _____ 早稲田学区社会福祉協議会	
4 取組内容	牛田山を背に、目の前に二葉山、その向こうは、似島、能三島、宮島・・・を見渡す、早稲田学区の自慢の風景を多くの人に楽しんでもらおうと、団地の上にある牛田早稲田第六公園に設置してある「早稲田団地の展望案内」板の写真を現状の写真に取替整備を行う。<u>（令和7年度に計画し、準備期間がなく中止した事業の再計画）</u> ➤ 早稲田団地の展望案内の整備概要 ・市内を望む写真撮影 ・写真の案内板への加工と案内文字の追記、取替工事	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 平成 25 年 3 月に牛田早稲田第六公園に設置された、「早稲田団地展望案内」板は、設置後 11 年が経過して劣化が進んでいることに加え、早稲田団地をはじめ市内の風景も大きく変わり案内写真が現状に合わなくなってきたことから、自分たちの住んでいる地域の状況を再認識するためにも「案内写真」を現状写真に取替整備する事業を行う。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 「自然を大切にしながら早稲田の町で優しい人たちに囲まれて楽しく暮らせる環境を整備する」という、見晴らし案内板設置時の思いを後世に継承するとともに、早稲田への郷土愛の醸成と地域住民のつながりがより強化されることでコミュニティの活性化の効果が見込める。	

1 事業名	地域安全見守り体制の再整備事業	(5)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(9) 実施期間	令和 8 年 9 月 1 日 ~ 令和 8 年 12 月 25 日	
(10) 実施場所（整備場所）	早稲田学区	
(11) 参加者数	600 人（見込み）	
(12) 主催団体	団体名 早稲田学区社会福祉協議会	
4 取組内容	早稲田学区では、児童の登下校の見守りを 2005 年に「わせだねっとパト」として組織化した。同年に安芸区で児童が連れ去られ殺害される事件が起きたことから、活動を強化し継続してきた。 見守りは、送迎・買い物・通勤・散歩など日常の外出時に、パトロールカード入りのネクストラップを着用するだけで参加でき、負担が少なく、多くの住民が参加しやすい仕組みとなっており、地域に見守りの目が多いことを示すことで、犯罪抑止効果も高いと考えられる。活動開始から 20 年を迎え、カードデザインやネクストラップを刷新し、参加者をさらに増やして継続的に取り組みを進める。	
5 目的・効果		
(3) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。）	早稲田学区で 20 年続く登下校の見守り活動を、地域全体で継続的に支える体制へと再整備することを目的としており、誰もが日常の外出時に気軽に参加できる仕組みを広げ、見守りの担い手を増やすことで、子どもの安全を守る地域力を強化する。	
(4) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。）	住民が日常の外出時に見守りへ参加することで、地域に「多くの目」がある状態が生まれ、犯罪抑止力が高まると考える。また、見守りの存在が子どもや保護者の安心感につながり、地域の安全意識向上や協力の輪の拡大にも寄与する。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
通年	ボランティアバンク活動推進事業	(1) 地域住民の生活支援に資する活動	ゴミ出しや植物の水やりなど、日常生活において支援を必要とする住民に対してボランティアによる生活支援の実施
通年	・盆おどりフェスタ ・コミュニティハウスの利用促進 ・見晴らし案内板の整備 ・わせだ LMO スポーツ大会 ・新年互例会	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	盆おどりフェスタやマラソン大会などのイベント開催及びコミュニティハウスの整備等を通して、地域住民の交流促進とコミュニティの活性化
通年	・にこにこ広場 ・てんとうむし ・友楽タイム ・校庭開放	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	こどもや保護者が気軽に集い交流できる居場所づくりの推進
通年	・見守りサポート ・サロンの定期開催 ・障がい児者父母の会（キャトルセゾン）の定期開催 ・新規会員募集キャンペーン	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	・高齢者の見守りや介護予防を目的とした活動の実施 ・サロン等の開催を通して地域住民同士の情報共有の機会を創出
通年	・防犯灯の増設 ・一家一点灯 ・ゴミ処理施設の見学等体験型学習 ・食品ロス研修会	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	防犯灯の整備や研修会・啓発活動の実施
通年	・防災拠点整備事業 ・避難行動計画書の作成支援	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	避難所運営の体制強化
通年	地域安全の見守り体制強化	(9) 地域の防犯に資する活動	朝・夕の挨拶運動や見守り活動の実施
通年	・高齢者サロンの活用 ・小・中学校での交通マナー教室	(10) 地域の交通安全に資する活動	交通安全運動週間にて、住民の啓発や交通マナー教室の開催
令和8年8月1日（土）	原爆慰霊祭	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	地域の歴史や文化の継承を目的とした、牛田三学区共催による原爆慰霊祭の開催
通年	・社協だより ・公式 LINE の活用促進 ・ホームページの更新	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	複数の媒体を使用した情報発信体制の強化
通年	人材確保	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	ネットワーク方式の町づくり組織やイベントサポート部組織の活用による人材確保